

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（オートキャンプ場）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	八幡平オートキャンプ場	鹿角市	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
2	男鹿オートキャンプ場	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	宮沢海岸オートキャンプ場	男鹿市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	由利高原オートキャンプ場	由利本荘市	廃止	R3.4.1 用途廃止（施設残存）
5	田沢湖オートキャンプ場	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

(1) 施設の存続

- 点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設
- 利用需要の継続した実績及び今後の見込みがあり、必需性の高い施設
- などは利用者の安全確保を第一に考え修繕等を実施

(2) 施設の廃止

- 老朽化が著しく、事故防止の観点から安全確保に支障がある施設
- 利用者が少なく、今後も増加が見込めない施設
- などは廃止した上で除却処分等を実施

【個別票】

更新日：R5.3.31

1	施設名	八幡平オートキャンプ場
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	八幡平オートキャンプ場	所在地	鹿角市八幡平字切留平
施設面積	2,395.08 m ²	建設年	H4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	207,998,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・利活用策を募集したが、いずれも県の設備投資が多額に上ること等から、提案の実現は、事実上難しいものと判断した。 ・当面の間、施設は存続し、適切な時期に解体除却する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・利活用策の募集（平成27、28年度）を実施済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【令和6年度頃に除却】

・公売を実施し、売却できない場合は除却するよう手続きを進める。

4 管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6 管理に関する実施計画

八幡平オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	327	—	
運用コスト	1,503	1,011	—	
修繕コスト	552	0	—	
その他				
(合計)	2,627	1,338	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,251	3,558	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,329	2,059	—	

2	施設名	男鹿オートキャンプ場
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	男鹿オートキャンプ場	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
施設面積	1,308.91 m ²	建設年	H11
構造・階数	木造・2階	台帳価格	51,247,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

男鹿オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	トイレ洋式化修繕	5,984	
R4	換気機能付き空調設備改修	6,215	
R6	電気機器交換	22,220	
R6	ガス給湯器改修	4,730	
	(合 計)	39,149	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	506	514	482	
運用コスト	1,933	2,388	1,937	
修繕コスト	332	1,011	500	26高圧気中開閉器更新550
その他				
(合計)	2,771	3,913	2,919	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,244	10,311	10,665	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,774	6,041	6,041	

3	施設名	宮沢海岸オートキャンプ場
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	宮沢海岸オートキャンプ場	所在地	男鹿市野石字大場沢下
施設面積	314.67 m ²	建設年	H12
構造・階数	木造・2階	台帳価格	8,361,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・民間等への譲渡を検討し、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
 ※平成27年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

宮沢海岸オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	炊事棟照明器具改修	1,056	
R4	炊事棟流し台給水管修繕	880	
R6	センターハウスデッキ改修	7,079	
R6	炊事場カウンター修繕	7,369	
	(合 計)	16,383	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	415	427	427	
運用コスト	410	451	423	
修繕コスト	30	0	694	27高圧気中開閉器更新608
その他				
(合計)	855	878	1,544	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,477	3,027	3,452	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,428	2,108	2,344	

4	施設名	由利高原オートキャンプ場
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	由利高原オートキャンプ場	所在地	由利本荘市西沢字南由利原
施設面積	247.75 m ²	建設年	H3
構造・階数	木造・1階	台帳価格	568,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	R3. 4. 1 用途廃止（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・利活用策について検討していく。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【令和2年度に廃止】

・利活用策について検討していく。

4 管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6 管理に関する実施計画

由利高原オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	165	180	180	
運用コスト	282	282	268	
修繕コスト	165	42	19	
その他				
(合計)	612	504	467	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	272	234	191	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	559	242	475	

5	施設名	田沢湖オートキャンプ場
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前
施設面積	367.07 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	48,246,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・仙北市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっても建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成25年度木柵改修及び平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

田沢湖オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	トイレ洋式化修繕	1,903	
R4	フリーサイト土壌修繕	1,320	
R4	木柵修繕（炊事場）	590	
R6	木柵修繕（場内全体）	14,520	
R6	照明器具修繕	6,111	
	（ 合 計 ）	24,444	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	125	130	142	
運用コスト	931	818	966	
修繕コスト	538	627	54	25木柵改修538 26高圧気中開閉器更新573
その他				
（合計）	1,594	1,575	1,162	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,920	5,668	5,753	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,766	5,414	5,585	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（大潟スポーツ宿泊センター）**

1 施設の概要

施設名称	大潟スポーツ宿泊センター（サンルーラル大潟）	所在地	南秋田郡大潟村字北
施設面積	6,706.30 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・8階	台帳価格	941,344,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・大潟村に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。 ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大潟スポーツ宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	7,903	
H30	外壁等改修	6,062	
H31	外壁等改修(展望風呂)	11,371	
H31	客室風呂改修	26,189	
H31	照明改修	19,010	
R2	パーティション改修	4,235	
R2	空調設備(換気)改修	3,366	
R3	浴場設備改修	11,721	
R3	床内装改修	50,087	
R3	空調設備(換気)改修	3,630	
R3	トイレ非接触改修	1,892	
R4	地下ピット内配管等改修	17,347	
R4	外壁改修(設計)	1,840	
R4	排風機修繕	1,985	
R4	真空温水ヒーター修繕	1,298	
R5	外壁改修	135,350	
R5	照明設備改修	9,267	
R5	展望浴場空調設備改修	2,500	
R6	浴場ポンプ修繕	1,001	
R6	機械室設備改修	4,883	
R6	内装改修	67,964	
R6	ハンガードア修繕	684	
R6	昇降機改修	1,209	
R7	厨房床改修	5,705	
R7	自家発電等電気設備更新	963	
R7	空調設備改修	139,040	
R7	屋外避難階段外部改修	14,344	
R7	パーティション改修	1,053	
	(合 計)	551,898	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,023	9,764	10,270	
運用コスト	41,299	34,968	31,802	
修繕コスト	5,027	23,261	4,476	26自動火災報知設備更新 21,531
その他				
(合計)	58,349	67,993	46,548	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	140,617	140,860	138,713	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	31,259	30,398	28,984	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋の宮山荘)

1 施設の概要

施設名称	秋の宮山荘	所在地	湯沢市秋ノ宮字殿上
施設面積	4,936.16 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	711,103,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・湯沢市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
 ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋の宮山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	18,146	
H29	冷温水発生機改修	15,473	
H30	電気設備改修	6,850	
H30	ポンプ類更新	7,415	
H31	屋根改修	2,473	
H31	浴場関係設備改修	13,131	
H31	風除室及び自動ドア改修	16,155	
R2	大浴場換気扇改修	1,749	
R3	屋根改修	52,283	
R3	床内装改修	51,261	
R3	トイレ手洗器自動水栓更新	3,597	
R3	客室換気扇等修繕	2,244	
R4	電気設備更新修繕	2,400	
R4	自動制御設備改修(設計)	1,126	
R4	エレベーター改修	1,636	
R5	外壁改修(実施設計)	2,330	
R6	照明省エネ修繕(LED化)	11,880	
R6	自動制御設備改修(工事)	70,229	
R6	厨房機械設備改修	3,436	
R6	大浴場シャワー修繕	2,871	
R6	冷温水発生器修繕	5,005	
R6	外壁改修	10,000	
R7	客室窓交換	1,448	
R7	給湯用仕切弁取替修繕	7,480	
R7	熱交換器取替工事	25,217	
R7	宴会場 内装改修	2,130	
	(合 計)	337,965	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,727	7,287	6,620	
運用コスト	24,136	23,824	19,446	
修繕コスト	1,482	5,051	2,615	
その他				
(合計)	33,345	36,162	28,681	H27.12～H28.3休業

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	231,431	207,600	144,858	H27.12～H28.3休業

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,423	12,778	8,724	宿泊者数

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（鳥海観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海観光宿泊センター（フォレスト鳥海）	所在地	由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前
施設面積	7,861.00 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階	台帳価格	1,148,040,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鳥海観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	25,280	
H30	直流電源装置等更新	20,546	
H31	外壁等改修	5,677	
H31	配電設備更新	8,111	
H31	空調設備ポンプ類更新	12,162	
R2	計装設備・給排水衛生設備更新	38,000	
R2	空調設備改修	8,800	
R3	合併浄化槽改修	795	
R3	受変電設備変圧・電話設備等更新	43,784	
R3	床内装改修	44,986	
R3	西側外気処理空調機改修	2,772	
R4	照明制御設備等更新	12,705	
R4	エレベーター改修	36,300	
R4	東側外気処理空調機改修	2,431	
R4	防火ダンパー取替	750	
R4	誘導灯設備修繕	1,320	
R5	照明設備更新	59,500	
R5	冷却塔改修	10,000	
R5	中央監視装置更新（設計）	794	
R6	小宴会場外調機修繕	1,034	
R6	中央監視装置更新	22,056	
R6	放送設備更新	4,286	
R6	浴場修繕	1,227	
R6	冷凍機器更新	2,577	
R6	非常用発電機修繕	1,232	
R6	排風機等修繕	7,334	
R7	外壁改修	31,569	
R7	衛生設備等更新	14,597	
R7	貯湯槽設備更新	22,033	
R7	冷暖房配管等設備更新	24,972	
R7	屋外排水管等設備更新	6,842	
R7	動力分電盤等設備更新	59,818	
R7	窓枠等改修	108,243	
R7	消防設備更新	20,330	
	（ 合 計 ）	662,863	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,462	24,124	25,071	
運用コスト	22,817	23,196	17,100	
修繕コスト	5,260	56,509	2,475	26冷温水発生機等更新54,211
その他				
（合計）	52,539	103,829	44,646	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	216,743	198,816	206,108	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,140	11,716	13,077	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（十和田観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	所在地	鹿角郡小坂町十和田湖字鉛山
施設面積	8,724.24 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,041,021,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

十和田観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷却塔等更新	41,338	
H30	外壁等改修	6,660	
H31	空調機器改修	9,978	
R2	エレベーター制御盤交換	13,530	
R2	大浴場洗い場仕切り設置工事	1,826	
R3	自動ドア装置交換	1,097	
R3	ガス強制気化装置改修	1,804	
R3	床内装改修	99,851	
R3	トイレ手洗器自動水栓更新	3,410	
R4	空調設備（GHP）改修	10,428	
R4	ボイラー及び全自動操作盤取替修繕	1,650	
R5	浴場ろ過装置制御盤等改修工事	22,914	
R5	照明設備修繕	17,800	
R5	電話交換機・電話機更新 実施設計	2,015	
R6	電話交換機・電話機更新	12,799	
R6	空調設備（AHU）改修	1,672	
R6	屋根改修	22,000	
R7	窓ガラス交換	37,240	
	（ 合 計 ）	308,012	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,472	17,340	17,172	
運用コスト	23,380	24,184	21,806	
修繕コスト	32,770	2,951	21,028	25中央監視装置更新32,148 27冷温水発生機改修17,660
その他				
（合計）	71,622	44,475	60,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	208,807	216,480	211,344	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	12,327	13,447	13,055	宿泊者数

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田ふるさと村)**

1 施設の概要

施設名称	秋田ふるさと村	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	18,167.05 m ²	建設年	H5
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階地下1階	台帳価格	2,556,556,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間60万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田ふるさと村に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	直流電源装置等更新	11,950	
H30	ドーム劇場屋上防水改修	2,056	
H30	非常用照明修繕	5,402	
H31	屋上防水改修	31,611	
H31	ワンダーキャッスル屋根改修	13,560	
H31	中央監視装置更新	3,478	

R2	中央監視装置更新	70,576	
R2	ドーム劇場電動式観覧席制御盤改修	7,865	
R2	外壁打診調査	2,047	
R2	ドーム劇場照明改修	83,735	
R2	トイレ洋式化修繕	5,885	
R3	郷土料理館屋根改修実施設計	470	
R3	トイレ洋式化修繕	20,020	
R3	レストハウス等改修修繕	847	
R4	郷土料理館屋根改修	24,406	
R4	工芸工房屋根改修	9,834	
R4	外壁改修（設計）	2,050	
R4	換気窓改修	6,380	
R4	非常放送設備改修	2,453	
R5	ドーム劇場ワイヤレス音響設備更新	7,590	令和4年度繰越
R5	外壁改修等	40,320	
R5	ガス気化設備等更新	18,336	
R5	給水ポンプユニット更新	53,566	
R5	消防設備更新	1,850	
R6	エネルギー棟設備更新	43,766	
R6	ドーム劇場舞台設備改修	143,278	
R6	高圧遮断機更新	8,785	
R6	電源装置改修	14,157	
R6	屋外舗装及び排水路等修繕	12,456	
R6	自動ドア装置改修	4,035	
R6	監視カメラ装置更新	117,583	
R6	手作り体験工房 空調設備更新	22,421	
R6	エレベーター改修	118,580	
R6	電気機器更新	20,691	
R6	照明設備修繕	26,983	
R7	屋上防水層改修	13,087	
R7	屋根及び外装修繕	24,665	
R7	角型冷却塔更新	17,096	
R7	非常放送設備改修	29,911	
R7	高圧区分開閉器（PAS）更新	1,452	
R7	直焚二重効用吸収式温水器更新	70,026	
R7	外構整備改修	16,500	
R7	ドーム劇場設備更新	153,173	
R7	スペーシア設備更新	3,449	
R7	ガスメーター更新	1,129	
R7	ワンダーキャッスル設備更新	1,595	
R7	ガス漏れ警報器更新	338	
R7	屋内消火栓ホース更新	2,142	
	（ 合 計 ）	1,293,584	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	108,259	106,730	107,686	
運用コスト	84,685	82,927	78,229	
修繕コスト	252,524	15,189	9,834	25遊具改修 20,952 25ﾌﾗﾅｸﾞﾗﾑ改修 114,285 25空調照明等改修113,604
その他				
（合計）	445,468	204,846	195,749	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	274,438	306,897	323,386	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	583,948	583,634	614,155	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（新玉川地区リゾート整備基盤施設）

1 施設の概要

施設名称	新玉川地区リゾート整備基盤施設	所在地	仙北市田沢湖玉川字柳沢
施設面積	1,086.15 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	465,541,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。

4 管理上の課題等

・給排水施設の修復については、(株)玉川サービスが県との覚書に基づき、費用の積立等を実施している。確実な費用の積み立てが課題である。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新玉川地区リゾート整備基盤施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	屋根改修（多目的屋内広場）	22,290	
	（ 合 計 ）	22,290	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,111	6,111	6,111	
運用コスト	5,602	6,767	6,124	
修繕コスト	4,670	16,552	5,725	26転落防止柵等更新 14,582 27カーポートパイプ更新5,725
その他				
（合計）	16,383	29,430	17,960	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スキー場)**

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スキー場	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,359.14 m ²	建設年	H9
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	422,249,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間約8万人のスキー客が利用しており本県への冬季誘客における重要な施設と位置づけている。また、全国規模の各種大会等にも利用されている。 ・耐用年数を迎えるリフト設備等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、リフト設備等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・リフト設備等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。 ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スキー場に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	スキーセンター改修及びラウンジ新設	303,296	平成28年度繰越
H29	銀嶺クワッドリフト等索受装置改修	24,192	
H29	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,832	
H30	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,184	
H30	銀嶺クワッドリフト搬器改修	43,200	
H31	かもしかクワッドリフト山麓押送駆動輪整備	3,197	
H31	銀嶺第１リフト改修	22,907	
R2	銀嶺クワッドリフト通信ケーブル更新	29,260	
R2	黒森山リフト油圧緊張シリンダー更新	3,850	
R2	かもしかクワッドリフト握索装置オーバーホール	16,390	
R2	管理センター改修	25,096	
R3	銀嶺クワッドリフト 制動装置オーバーホール	8,580	
R3	銀嶺第３リフト油圧緊張装置オーバーホール	5,060	
R3	銀嶺第３リフト制動装置オーバーホール	5,940	
R3	かもしかクワッドリフト山頂押送駆動輪、拡索輪整備	5,225	
R3	トイレ水栓自動化等修繕	14,157	
R3	管理センター地下タンク修繕	1,612	
R4	銀嶺クワッドリフト支えい索更新	35,519	
R4	かもしかクワッドリフト支えい索更新	14,476	
R4	かもしかクワッドリフト油圧緊張装置更新	16,610	
R4	かもしかハウス屋根修繕	2,447	
R4	換気機能付き空調設備修繕	16,907	
R5	スキーセンターレラ非常用発電機修繕	1,100	
R5	ぎんれいハウストイレ改修工事	7,807	
R5	銀嶺クワッドリフト搬機フード開閉ケーブル交換	18,150	
R5	かもしかクワッドリフト搬機フード開閉ケーブル交換	11,266	
R5	照明省エネ修繕（ＬＥＤ化）	47,560	
R5	スキーセンターレラ共用トイレ多様性改修（実施設計）	3,000	
R6	スキーセンターレラ共用トイレ多様性改修	11,241	
R6	ぎんれいハウス屋根修繕	6,760	
R6	スキーセンターレラ浄化槽ブロワ交換修繕	927	
R6	かもしかクワッドリフト座板用ウォームシート交換	4,859	
R6	銀嶺ハウス厨房設備等更新	6,130	
R6	かもしかハウス厨房設備等更新	3,590	
R7	銀嶺第１、銀嶺第３、黒森山リフト搬器座板等改修	43,258	
R7	銀嶺クワッドリフト山頂部油圧緊張装置オーバーホール	19,312	
R7	銀嶺クワッドリフト山頂部無線制御装置設置	1,210	
R7	スキーセンターレラ屋上防水改修	11,440	
R7	スキーセンターレラ外部鉄部筋交い修繕	7,039	
R7	スキーセンターレラボイラー設備交換	17,500	
	（ 合 計 ）	806,547	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,770	3,414	
運用コスト	24,307	21,606	18,044	
修繕コスト	53,686	43,960	57,238	2577改修 44,401 2677改修 34,800 2777改修 49,453
その他				
（合計）	80,682	68,336	78,696	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	147,388	147,077	133,144	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	98,030	100,039	86,441	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（男鹿水族館）

1 施設の概要

施設名称	男鹿水族館	所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢
施設面積	8,968.75 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,640,850,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間20万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿水族館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	取水ポンプ室防潮扉等更新	15,094	
H30	ブラインチラー設備等更新	30,871	
H31	自家用発電機更新基本設計	2,177	
H31	空調設備更新	27,116	
R2	冷温水発生機 実施設計	1,111	
R2	電気設備部品交換	5,225	
R2	冷暖房空調設備改修	15,147	
R3	冷温水発生機改修	55,461	
R4	冷温水発生機改修	47,293	
R4	非常用電源装置更新 実施設計	3,559	
R4	中央監視装置更新 基本設計	290	
R4	大水槽上部排煙ダクト修繕	5,066	
R5	非常用自家発電機更新	239,106	
R5	二酸化炭素消火器ボンベ更新	18,007	
R6	照明設備修繕	34,400	
R6	展示水槽用冷水自動弁修繕	748	
R6	防災設備更新	27,456	
R6	大水槽漏水停止改修	22,880	
R7	昇降機改修	744,705	
R7	GHP更新	83,804	
R7	飼育用冷凍冷蔵庫改修	6,385	
R7	中央監視装置更新	200,000	
R7	生物展示場修繕	2,200	
R7	外壁等改修	13,640	
R7	給排水設備更新	1,914	
R7	館内建具更新	4,556	
R7	電気室等電気設備改修	10,202	
R7	飼育室空調機等設備改修	124,938	
R7	圧力式ろ過機オーバーホール	55,000	
	(合 計)	1,798,351	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,688	32,813	37,255	
運用コスト	87,165	83,663	73,202	
修繕コスト	18,875	6,517	34,497	27ウットデッキ改修15,364 27空調機更新 6,650
その他				
(合計)	154,728	122,993	144,954	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	224,801	169,931	167,205	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	318,148	226,990	228,241	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(総合プール)**

1 施設の概要

施設名称	総合プール	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,160.15 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	4,980,502,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・全国規模の大会開催や国内トップ選手の合宿を受入可能な設備を有する県内唯一の施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合プールに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	軒天井補強、蓄電池交換	19,468	
H30	2号井戸設置	17,623	
H30	吊り天井改修工事 実施設計	8,581	
H30	排気ファン修繕	1,500	
H30	照明設備LED改修	68,564	
H31	吊り天井改修	479,014	
H31	濾過制御装置修繕	4,510	
H31	LED改修工事	36,588	
R2	大規模改修工事（設備） 実施設計業務	6,416	
R3	大規模改修工事（設備）	103,004	中央監視装置、ジャグジー装置、消毒薬注入ポンプ、濾過量水器等
R3	放送室・計算室エアコン修繕	4,950	
R3	可動床装置修繕	6,385	
R3	冷却塔及び空調機更新	18,927	
R3	自動ドア更新	2,367	
R3	温水ヒーター更新	1,542	
R3	水質監視装置更新	27,060	
R4	濾材交換	45,702	
R4	空調用塩害除去中性能フィルター更新	4,059	
R4	熱交換器更新	21,398	
R4	貯湯層系統密閉式膨脹タンク更新	3,036	
R4	濾過ポンプ交換修繕	3,956	
R4	フート弁更新	798	
R4	男女更衣室床張り替え	2,466	
R4	床材滑り止め修繕	9,515	
R4	換気窓改修工事	10,403	実施設計含む
R4	照明制御装置交換修繕	17,655	
R5	空調機外気側ダンパー等修繕	6,876	
R6	ダイビングボード修繕	1,650	
R6	メイン・ダイビングプール音響設備改修	15,096	
R6	競泳競技リザルトシステム更新	29,421	
R6	水球競技表示システム更新	42,818	
R6	エレベーター修繕	6,000	
R6	マンホール修繕	2,108	
R6	雨水浸透柵修繕	550	
R6	施設内監視カメラ更新	8,869	
R6	照明リモコンスイッチ更新	30,411	
	(合 計)	1,069,285	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,827	3,048	2,799	
運用コスト	104,357	101,412	81,765	
修繕コスト	4,183	12,718	17,286	
その他				
(合計)	111,367	117,178	101,850	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	27,978	28,994	27,839	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	152,221	161,542	157,801	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スケート場)

1 施設の概要

施設名称	スケート場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,064.28 m ²	建設年	S46
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	31,831,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内唯一のスケート場であり、アスリート育成及び競技力向上、また、冬季における貴重な運動・レクリエーション施設として位置付けている。 ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成19年度に屋根改修、平成26年度に照明設備改修を実施している。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・その他の設備機器等についても耐用年数を迎えたため、計画的な修繕・更新を実施する。
- ・防水屋根シート（2007年度施工）の耐用年数（13年）経過により、リンク上で雨漏りが発生していることから、改修が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スケート場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	污水管更新	8,388	
H30	井戸掘削工事	34,090	
H30	冷凍機更新（実施設計、機器製作、仮設工事）	351,154	
H31	冷凍機更新（設計監理、機器設置工事）	169,156	
R2	ホッケーリンク床コンクリート・冷却配管更新	156,478	
R4	ゴムフロア張り替え	2,095	
R4	屋根防水工事 実施設計	3,503	
R4	ブラインポンプ4号機モーター修繕	3,009	
R5	トップライトシーリング修繕	2,948	
R5	氷上整備車更新	33,055	
R7	サッシ取替	101,848	
	（ 合 計 ）	865,724	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,795	1,841	1,868	
運用コスト	30,578	25,593	18,337	
修繕コスト	1,573	52,511	7,815	26冷凍機修繕 19,872 26照明LED化 26,482
その他				
（合計）	33,946	79,945	28,020	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	40,626	36,493	35,646	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	78,348	69,398	67,224	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(武道館)

1 施設の概要

施設名称	武道館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	18,744.00 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	2,754,285,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県内唯一の総合的な武道競技施設であり、全国規模の大会の開催等によりスポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、年間を通じた武道の競技力向上、武道を通じた青少年の健全育成に寄与する重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ なし

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・ 設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

武道館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	蓄電池交換、気中開閉器交換、照明設備改修	79,391	
H30	雨水排水管洗浄業務委託	800	
H31	トランス絶縁油交換業務委託	2,530	
H31	吊り天井改修	335,771	
R2	冷温水発生機修繕（4号機）	7,997	
R3	KHPエアコン改修工事	35,059	基本・実施設計含む
R4	大道場天井修繕（雨漏り対策）	21,089	実施設計含む
R4	大道場換気窓改修工事	26,589	実施設計含む
R4	冷温水発生機修繕（3号機）	8,657	
R4	冷却塔（クーリングタワー）修繕	2,156	
R4	近的弓道場安土改修	1,870	
R4	各道場扉修繕	2,789	
R4	正面玄関自動ドア修繕	1,584	
R4	軒天換気用給気ダクト改修	1,925	
R6	空調フィルター交換	11,101	
R6	中央監視装置更新	103,400	
R6	冷温水発生機修繕（1号機、2号機）	25,902	
R7	大道場床修繕	12,111	
	（ 合 計 ）	680,721	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,747	12,244	11,525	
運用コスト	32,866	33,265	29,408	
修繕コスト	754	2,431	2,719	
その他				
（合計）	45,367	47,940	43,652	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,937	14,506	13,759	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	230,362	225,945	230,598	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(体育館)**

1 施設の概要

施設名称	体育館	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	7,636.90 m ²	建設年	S43
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	235,449,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	複合化(主)を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内有数の観客席を有しており、全国規模の大会開催やコンサート、イベントの開催により交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成26年度にトイレ洋式化改修、平成27年度に照明設備改修を実施している。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・建替えのうえ、アリーナ機能の追加及びスポーツ科学センターとの複合化を検討する。

※ 公民連携の検討について

- ・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年以上とする。
- ・目標使用年数経過にあわせ、建替えを実施する。
- ・建替えまでは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・耐用年数を迎える設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施する。
- ・熱中症対策として、大体育場及び小体育場に空調(冷房)設備の設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	避雷設備修繕	2,262	
H31	空調設備改修工事	15,343	
H31	スプリンクラー設備修繕	10,792	
H31	吊り天井改修工事 設計業務	8,126	
R2	吊り天井改修	236,560	
R4	天井耐震化推進工事	395,795	天井改修2期工事
R4	屋根防水等工事設計業務委託	2,969	
R5	屋根防水等工事	46,885	設計管理含む
R5	高圧気中開閉器及び非常発電用蓄電池更新	2,519	
R6	大規模改修工事（設備） 設計業務委託	9,431	
R6	控え室エアコン設置工事	6,219	
R6	オイルサービスタンク設置	2,615	
R6	物置換気室設置工事	2,475	
R6	入口玄関タイル修繕	7,200	
R6	暖房用ボイラー修繕	54,673	
R6	非常用発電機修繕	37,115	
R7	駐車場舗装工事	27,995	
	(合 計)	840,979	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,241	6,581	6,771	
運用コスト	12,056	12,035	8,904	
修繕コスト	861	15,554	41,709	26トイレ洋式化 14,958 27照明LED化 39,800
その他				
(合計)	19,158	34,170	57,384	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,236	13,415	14,854	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	121,933	131,104	134,387	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合射撃場（ライフル射撃場））

1 施設の概要

施設名称	総合射撃場（ライフル射撃場）	所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢
施設面積	2,449.49 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	148,063,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内で唯一競技大会が開催可能な施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、ジュニア選手の強化拠点としても重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。
- ・鉛弾による環境保全上の問題を生じさせないよう鉛害防止対策を実施する。

6 管理に関する実施計画

総合射撃場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	真空遮断器交換	1,550	
H30	ライフル射撃場側壁修繕	28,294	
H30	飛散防止ネット実施設計	37,196	
H31	ライフル棟屋根・外壁防水塗装工事	32,024	
H31	防護ネット工事他	687,401	
R2	ライフル射撃場エアコン設置	829	
R2	舗装工事	84,271	
R6	ライフル棟弾回収器修繕	810	
R6	ビームライフル室エアコン設置	1,430	
	(合 計)	873,805	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	797	820	820	
運用コスト	1,521	1,582	1,436	
修繕コスト	81	49	3,137	
その他				
(合計)	2,399	2,451	5,393	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	546	542	557	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,127	1,210	1,168	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スポーツセンター)

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スポーツセンター	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,421.73 m ²	建設年	H18
構造・階数	鉄骨造・3階	台帳価格	628,935,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 体育館、サッカー・ラグビー・陸上競技場等を併設し、県外からも合宿を受け入れている施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ なし

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・ 設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・ 熱中症対策として、体育館及び宿泊棟に空調（冷房）設備の設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化による腐食が進んでいる浴室壁や給水設備の修繕・交換
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スポーツセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	浴室壁等改修	8,494	
R4	事務室・食堂系統空調設備改修工事	57,830	基本・実施設計含む
R4	自動給水装置	2,232	
R4	電気給湯器更新	1,405	
R4	宿泊棟等LED化修繕	30,496	
R5	体育館等LED化修繕	29,795	
R6	客室雨漏り修繕	8,000	
R6	宿泊棟空調設備更新	50,820	
R7	体育館屋根・外壁改修	55,700	
R7	宿泊棟外壁改修	46,900	
	(合 計)	291,672	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,571	1,905	2,315	
運用コスト	18,200	17,477	15,463	
修繕コスト	1,883	2,491	2,035	
その他			91,022	27陸上競技場トイレ整備 13,262 27ジャッジハウス整備 77,760
(合計)	22,654	21,873	110,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	48,713	45,342	48,391	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,700	36,591	39,313	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スポーツ科学センター)

1 施設の概要

施設名称	スポーツ科学センター	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	6,506.79 m ²	建設年	S54
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	339,383,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化(従)を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田県スポーツ推進計画に基づき、スポーツ指導者の養成並びにスポーツに関する研修及び医学的研究を行うことによりスポーツの普及振興及び競技力向上を図る重要な施設と位置付けている。 ・今後、体育館との複合化(従)を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・今後、体育館との複合化(従)を検討する

※ 公民連携の検討について

- ・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
- ・複合化(従)となった場合の建物の扱いについては、今後検討する。
- ・目標使用年数経過までは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・熱中症対策として、各階運動場に空調(冷房)設備の設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スポーツ科学センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	吊り天井改修	41,366	
H31	地下雑排水設備更新	2,145	
R4	避難器具更新	1,000	
R6	耐震改修	4,672	
	(合 計)	49,183	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,139	4,239	4,101	
運用コスト	7,713	7,650	6,875	
修繕コスト	1,754	1,695	199,580	27大規模機械設備改修 198,337
その他			31,500	27太陽光発電設置 31,500
(合計)	13,606	13,584	242,056	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,336	7,046	7,222	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,084	54,008	52,628	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(能代山本スポーツリゾートセンター)

1 施設の概要

施設名称	能代山本スポーツリゾートセンター	所在地	能代市落合字下台
施設面積	9,013.70 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,184,477,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・各種スポーツ大会を開催しているほか、スポーツ合宿を受け入れており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
- ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
- ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。

※ 集約・複合化の検討について

- ・なし

※ 公民連携の検討について

- ・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・能代山本広域市町村圏組合に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

- ・プール設備について大規模修繕が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・熱中症対策として、アリーナに空調(冷房)設備の設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため効率が低下しているプール濾過装置の濾材交換及びポンプの修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

能代山本スポーツリゾートセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	自家発電用蓄電池交換	1,600	
R4	プール用熱交換器修繕	5,940	
R4	直流電源装置修繕	4,572	
R5	屋根・外壁防水工事实施設計	6,495	
R5	自動力率盤更新	8,110	
R6	プールろ過装置改修	18,700	
R6	プール集毛器更新	5,500	
R6	自動制御機器更新	6,600	
R6	屋根・外壁防水工事	510,070	
R6	アリーナ空調設備新設工事	123,200	
R7	アリーナ照明LED改修工事	45,196	
R7	アリーナ床材補修	14,281	
	(合 計)	750,264	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,867	9,963	10,196	
運用コスト	45,823	51,424	44,958	
修繕コスト	4,880	4,755	7,140	
その他				
(合計)	57,570	66,142	62,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	139,074	147,840	145,315	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179,355	201,058	206,779	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大館地区多目的ドーム)

1 施設の概要

施設名称	大館地区多目的ドーム	所在地	大館市上代野字稲荷台
施設面積	23,515.39 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C 造(一部木造)・2階	台帳価格	3,566,613,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・大館市に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。

・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

・膜屋根及び電気設備について大規模修繕が必要である。

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化により不作動の恐れがある電気設備の交換・修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館地区多目的ドームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	8,892	
H30	発電機修繕	14,600	
H30	照明灯設備改修	25,165	
H30	ボイラー内水管群交換修繕	10,411	
H31	膜屋根修繕	27,573	
H31	電光掲示板システム改修	13,179	
R4	膜屋根修繕	6,708	
R4	多目的室天井修繕	3,093	
R4	膜屋根点検用フック交換修繕	17,335	
R5	自動火災報知設備改修工事実施設計	1,626	
R6	電波障害設備撤去	12,000	
R6	自動火災報知設備改修工事	26,323	
	(合 計)	166,905	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,844	12,637	12,643	
運用コスト	28,726	31,153	26,237	
修繕コスト	16,283	14,627	38,730	H25年 雑用水設備更新 (12,303円) H27年 中央監視装置更新 (17,167円) H27年 外部柱修繕 (11,069円)
その他				
(合計)	55,853	58,417	77,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	18,103	31,284	23,356	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,315	296,427	298,810	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(向浜運動広場)

1 施設の概要

施設名称	向浜運動広場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	544.29 m ²	建設年	S55
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	14,902,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・テニスコートは、野球場及びスケート場とともに、向浜総合スポーツゾーンを形成する施設であり、対象となるテニスコート倉庫兼観客席は、住民が主体的に参加できる地域スポーツ施設を維持する施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、今後は必要最小限の修繕を行い、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、必要最小限の修繕を行い、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・経年劣化により土質の悪化しているクレーコートの改修を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

向浜運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	駐車場補修	11,373	
R5	4面球場ナイター照明LED化実施設計	2,601	
R6	4面球場ナイター照明LED化工事	399,300	
R6	テニスコート電気設備キュービクル改修	17,160	
R6	テニスコートフェンス復旧	17,479	
	(合 計)	447,913	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	113	112	54	
運用コスト	72	83	81	電気料金は野球場に含む
修繕コスト	50	73	80	
その他				
(合計)	235	268	215	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,917	3,231	3,423	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	37,254	36,710	39,081	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（新屋運動広場）

1 施設の概要

施設名称	新屋運動広場	所在地	秋田市豊岩石田坂字館野
施設面積	259.50 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	4,416,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内トップスポーツチームの練習場として使用されているほか、子供から高齢者まで生涯スポーツの拠点として重要な施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・球切れ及び生産が終了している既存照明設備（水銀灯）の改修が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	3,084	
H31	トイレ洋式改修	583	
H31	監視塔及び物置撤去・新設工事 設計業務	1,154	
R2	浄化槽制御装置修繕	4,291	
R4	監視塔及び物置撤去・新設工事	16,682	設計監理含む
R4	屋根防水塗裝修繕	1,439	
R4	空調設備改修	4,760	
R5	投光器LED改修工事実施設計	2,601	
R6	温水器改修	1,276	
R6	投光器LED改修工事	187,660	
	(合 計)	223,530	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	405	417	417	
運用コスト	4,418	3,262	2,956	
修繕コスト	892	1,711	95	
その他				
(合計)	5,715	5,390	3,468	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	837	627	688	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,711	17,143	18,749	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(野球場)

1 施設の概要

施設名称	野球場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	5,666.51 m ²	建設年	H15
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	2,919,148,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内で唯一プロ野球開催可能なナイター照明設備を有しているほか、県内における主要な大会を開催しており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・建物については、平成29年度に観客席膜屋根鉄骨改修、付属設備についても同年度にナイター照明塔及びグラウンド改修実施予定。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・潮風の影響により金属部分は通常より早く錆・腐食が生じるためきめ細かな点検が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

野球場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	膜屋根改修、照明改修及びグラウンド改修等	1,153,438	
H30	自動火災報知設備更新	909	
R4	エレベーター改修	14,932	
R4	ヒートポンプエアコン改修工事	38,815	実施設計含む
R4	ガス管及び給湯器等修繕	1,735	
R4	E X P. ジョイントカバー修繕	1,639	
R5	内野スタンド防水改修工事实施設計	3,545	
R6	内野スタンド防水改修工事	771,100	
R6	新井戸設置工事	15,293	
R6	電話設備修繕	1,925	
R6	消防設備改修	1,860	
R7	I T Vカメラ設備更新	11,435	
R7	スコアボード更新	328,570	
	(合 計)	2,345,196	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,077	2,781	2,577	
運用コスト	16,026	16,765	16,613	
修繕コスト	16,159	1,689	12,120	25スピーカー更新 15,645 27スコアボード設備更新 10,768
その他				
(合計)	35,262	21,235	31,310	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	9,124	9,125	9,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	132,939	151,479	132,831	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(鹿角トレーニングセンター)

1 施設の概要

施設名称	鹿角トレーニングセンター	所在地	鹿角市花輪字百合沢
施設面積	6,910.88 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階	台帳価格	1,360,893,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・鹿角市に対し意向調査を実施している。今後は付属構築物であるジャンプ台等含め、譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

・建物と一体で管理している構築物（ジャンプ台）について改修が必要である。
・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
・設置後25年が経過した既存空調設備（宿泊棟暖冷房）の改修が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・基礎の亀裂が生じているジャンプ台の改修
- ・経年劣化によるジャンプ台滑走路の更新
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鹿角トレーニングセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	吊り天井改修工事	36,475	
H31	ジャンプ台滑走路改修工事 設計業務	6,812	
H31	屋根防水改修工事 設計業務	1,010	
R2	ジャンプ台滑走路改修工事	240,130	
R2	選手控え室改修工事 設計業務	9,761	
R2	屋根防水改修	23,858	
R3	選手控え室改修工事	119,002	
R6	宿泊棟冷暖房設備改修	325,548	
R6	キュービクル改修工事	33,696	
R6	エレベータ修繕	13,176	
R7	ジャンプ台電算システム改修	21,466	
R7	ジャンプ台スロープカーレル更新	43,059	
	(合 計)	873,993	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,731	21,104	21,104	
運用コスト	33,154	30,900	26,987	
修繕コスト	5,604	3,161	23,858	27屋根雪害復旧 13,824
その他				
(合計)	60,489	55,165	71,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	45,698	53,984	58,279	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,867	71,685	146,597	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合食品研究センター）

1 施設の概要

施設名称	総合食品研究センター	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	7,570.64 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,015,962,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当該施設は目標使用年数60年の想定建物であり、21年目の平成28年に以下の大規模修繕を実施した。すなわち、設備では冷暖房設備、受変電設備、照明LED化、電話交換機、警備システムの更新および相談機能と研究機能の再編に伴う建物レイアウト変更である。 ・平成29年度はクーリングタワー（熱交換ユニット）を更新し、平成30年度についても冷凍庫、冷蔵庫、恒温室などプレハブ式温度調節施設機器を更新した。今後少なくとも20年程度は設備関係については大規模な修繕を行う必要なく運営できると考えられる。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・すでに平成28年度から30年度において大規模修繕を実施し、研究機関としての機能を果せることから集約等については検討しない。

※ 公民連携の検討について

- ・県内食品事業者への技術支援や食品関係試験研究を設置目的としており、指定管理者制度やアウトソーシングについてはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・建物、施設の譲渡（一部を含む）の対象ではない。

※ 市町村協働の検討について

- ・市町村協働の対象となる機能は存在しない。

3 目標使用年数 【 目標使用年数60年 】

- ・当該施設は、目標使用年数60年を想定する建物であり長寿命化対策の適宜実施により今後40年以上は使用できると考えている。

4 管理上の課題等

- ・扉腐食や建物シール類劣化が進行しているため躯体に影響を及ぼす前に計画的な修繕を実施していく必要がある。
- ・非常放送設備など耐用年数を経過した設備の更新が遅れているため優先順位の高いものから計画的に更新していく必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・平成28年度の大規模修繕によりセンター主要部については、ほぼ機能更新を実施した。
- ・29年度以降もプレハブ式冷凍冷蔵施設（熱交換ユニット含む）とドラフトチャンバー（実験用局所排気装置）の更新を実施し、今後20年以上大規模修繕を行わずともセンターの機能は維持できるものと判断している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合食品研究センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新	24,933	
H30	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新等	84,552	
R4	ガス漏れ警報器の更新	1,518	
R6	整流器盤の更新	15,851	
R6	非常放送設備の更新	4,213	
R7	給水設備・給湯設備・特殊排水処理施設の修繕	17,317	
R7	鋼製建具・シャッター取替	11,011	
	(合 計)	131,067	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,607	16,844	16,990	
運用コスト	24,532	25,604	23,981	
修繕コスト	4,038	5,976	5,258	
その他	132	175	273	
(合計)	45,309	48,599	46,502	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,873	1,365	21	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,942	1,686	1,524	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（あきた芸術劇場）**

1 施設の概要

施設名称	あきた芸術劇場（ミルハス）	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	13,026.00 m ²	建設年	令和4年
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上6階地下1階	台帳価格	7,687,158,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果		
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・人口減少を見据えた施設の集約化や財政面での負担軽減などから、県と市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館それぞれの機能を継承する文化施設を整備した。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・県と市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約化を実施した。

※ 公民連携の検討について

- ・指定管理者制度を導入済
- ・文化施設における運営組織について、運営管理計画で方針を定めている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・県・市協働プロジェクトとして、令和4年6月に開館し、運営管理も共同で行うこととしている。

3 目標使用年数 【目標使用年数50年】

- ・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

- ・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

5 管理に関する実施方針

- ・建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

6 管理に関する実施計画

あきた芸術劇場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(あきた芸術劇場整備事業 ※秋田県民会館と秋田市文化会館の集約)		
H29	基本設計等	232,308	
H30	解体費、実施設計費等	1,818,726	補償費等含む
H31～R4	建設費等	21,166,327	
	(合 計)	23,217,361	県及び秋田市の負担合計額

(参考：県民会館維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,404	4,519	4,595	
運用コスト	24,371	23,491	22,483	
修繕コスト	2,975	5,507	1,904	
その他	0	0	0	
(合計)	31,750	33,517	28,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	51,871	55,803	52,236	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	276,066	290,410	281,094	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合生活文化会館）

1 施設の概要

施設名称	総合生活文化会館（アトリオン）	所在地	秋田市中通
施設面積	13,375.15 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上12階地下3階	台帳価格	1,387,061,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・国内でも最高水準の音響条件を備えた音楽ホールを有し、芸術文化や観光スポットとして県民に親しまれているほか、地域の産業・生活・文化に渡り広く活動が行われる複合的機能を持つ拠点施設であるため、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・平成29年度に共用部の長期修繕計画（10年間）を策定したうえで、計画的な改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を経過しているため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・施設利用者の安全を確保するとともに、資産を保全するため修繕工事等を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合生活文化会館（アトリオン・共用部）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自家発電設備等改修	45,083	
30	空調機自動制御設備修繕 等	31,676	
31	エレベーター改修 等	48,084	
R2	エレベーター改修 等	46,895	
R2	天井改修工事設計	12,487	営繕課対応
R3	受変電設備改修、エレベーター改修 等	65,950	
R4	外壁修繕、受変電設備改修、直流電源設備改修 等	100,014	天井改修35,234千円含む
R5	受変電設備改修、エレベーター改修 等	179,554	天井改修105,644千円含む
R6	受変電設備改修 等	55,306	
R7	エスカレーター改修 等	68,820	
	(合 計)	653,869	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,925	64,202	64,226	
運用コスト	54,962	61,263	57,203	
修繕コスト	51,474	63,341	68,553	25熱源改修 30,499 26熱源改修 41,544 27熱源改修 45,850
その他	0	0	0	
(合計)	155,361	188,806	189,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	43,161	43,469	43,996	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,275	332,725	276,228	